

みやのくに

第 20 号

発行所 役場
二宮町 68・353 番
電話 二宮 68
印刷所 池田印刷所
電話 二宮 120 番

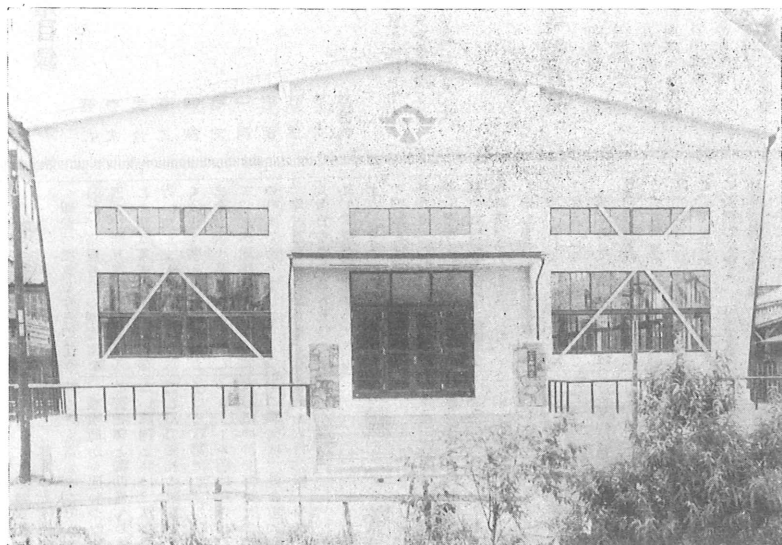
町人口動態

昭和33年6月1日現在	
世帯数	2762
人口	13,431
男	6615
女	6816
出生	9
死亡	11
転入	68
転出	89

講堂落成す

盛大な式典と祝賀の催

星月晴の空に、花火のこ
だます五月十七日午前
時、県知事さん地元選出
の芸能人の漫才、大演
演、町代表の成功者
町代表の町会議員さん、
長さん等多数来賓の御臨
のもとに、……式次第に
より披露の裡に落成の式典
の風船が、子供達の喜びを
……落成した講堂（正面玄関）……



……落成した講堂（正面玄関）……

計量器定期検査

実施についてお願い

計量法（昭和二十六年法
律第二十七号）第四百一
条の規定により二宮町にお
ける計量器の定期検査実施
は次の通りです。

期日	場所
六月二十八日	二宮町講堂
午前九時より	計量器定期検査の 受検申請書提出期 日は六月十六日迄
午後三時まで	
六月三十日	
午前九時より	
午後三時まで	

長谷川議長再選

副議長に西山信次氏

五月二十四日の臨時会に
おいて議長副議長の辞職を
承認し直ちに選挙に入り指
名推選の結果両氏を当選
人と決定した。

○議長 長谷川 三輪
○副議長 西山 信次
○常任委員会 池田 三造
○厚生委員会 松本 隆平
○経済委員会 井上 佐助
○西山伊藤 陽直 一田代
○小泉 隆吉 長谷川 潤

講堂使用についての注意事項

条例、規則等の制定まで、当分の間教育委員会が管理
を委任されましたので使用に当たっては左の事項に留意さ
れ、施設の円滑な活用と御協力下さるようお願いします。

一、申請書の提出

所定の事項を記入し、使用しよ
うとする日の七日前迄に、二部教
育委員会に提出して下さい。
（様式は別載のとおり）

二、使用上の許可

次の各項に低減せぬ限り、使用
する日の五日前迄に許可します。

- 1、公益を害し、風俗を乱すおそれがあると認められた時
- 2、施設（備品含む）を毀損するおそれがあると認められた時
- 3、管理上支障のある時
- 4、本注意事項に反し、又管理者の指示に従わぬ時

三、開閉の時間

毎日午前九時より午後十時三十分
毎日前九時より午後五時三十分

四、使用の時間

毎日午前九時より午後五時迄を
屋間の部、毎日午後五時より午後
十時三十分迄を夜間の部に分類し
午後十時三十分以後の使用は認め
ません。

五、損害の弁償

施設、備品等を毀損し、又は滅
失した時は、主催者は現物又は該
当する金額を弁償しなければなら
ません。

六、使用上の注意

- 1、火気に関する注意……タバコは一定の場所での喫煙し、小会合以外ホールの内ではなるべく喫煙しない方が望ましい。喫煙中又喫煙後は充分火気に注意して下さい。
- 2、換気に関する注意……窓は出来る限り開放して下さい。
- 3、備品……ピアノ、放送施設、機、懸掛卓球台その他の使用に際しては取扱説明に充分注意し、使用後は原状に戻し整理して下さい。
- 4、土足厳禁……舞台上は絶対に土足で上らぬ事。又舞台上のピアノ等の移動の時は持ち運び引きずらない事。
- 5、電力……室内灯使用後は必ず電源を切つておいて下さい。
- 6、整理……講堂使用後は清掃して整理して下さい。
- 7、危険……舞台袖の屋根裏は電気の配線等で危険なので主催者は充分注意され、子供の上らぬように心掛けて下さい。
- 8、終了の届……帰宅に当たっては管理者又は役場使丁に鍵を渡し終了、散会の報告をして下さい。

申請書様式

申請書様式
主権者の住所氏名
町内連絡責任者住所氏名
使用目的
参加予定人員
使用の設備
その他

昭和三十三年 月 日

二宮町教育委員会 主権者氏名

講堂用品寄贈目錄

一、	グランドピアノ
一、	放送施設
一、	校内電話器
一、	綴張
一、	引幕
一、	国旗
一、	演壇
一、	移動黑板
一、	美術青銅花瓶
一、	暗幕
一、	座布団

昭和三十三年五月十七日

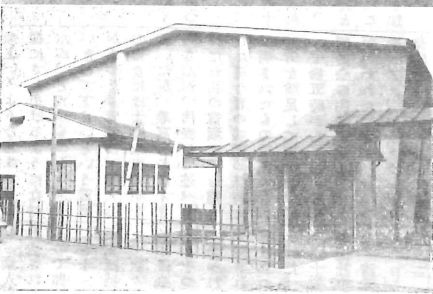
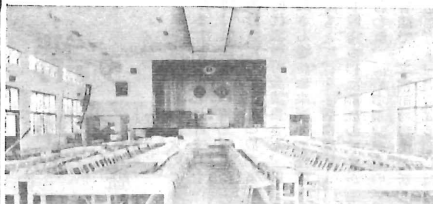
管台
式台
式台
式台
四座
一對
一組
壹面
壹個
壹式
參拾枚

篤志家よりの寄贈備品

- 一、大鏡 壹面 大昭金殿
一、卓球 台 壹組 竹町定芳殿
一、予定用黒板 壹式 二宮町青年会殿
一、電気時計 壹個 中南信用金庫殿
一、国旗、町草旗 長谷川潤殿
一、美術大花瓶 壹個 成瀬産業殿
一、花 台 壹対 小田原市

建築物の概要

鉄骨防火造平家建
建物面積
本館五三九、七〇平方
米（六三、二五坪）
便所二八、四平方
米（八、四二坪）
渡廊下二三、四平方
米（九、九八坪）
計六〇〇、七平方
米（一八一、六五坪）
、施工期間
自昭和三年五月末日
至昭和五年五月末日
工費予算高、一、〇五〇万円
平塚市成瀬産業株式会社
設計
一級建築士 石野彌平



写真説明 中 ステージだん上より玄関を望む
下 後側小学校よりの通路

町長式辭

新緑の風薫る今日の佳き
 に、來賓各位の御臨席を
 き、荳万四千町民待望久
 き講堂落成の式典を、挙
 げたいとします事は、私の
 欣快に堪えない処であり
 す。抑々当町におきまし
 之が建設は実に長い間
 懸案でありました。

評の講堂は、此の町に足
 留める人は勿論、今日も亦

了たのです。
 これは長寿の里
 二宮のもう一つ
 の御指導と御助言への限り
 県当局から賜つた致々
 の殿堂として、又発展二宮
 の象徴として、行く末長く
 町の文化向上に益する処大
 きいものがあると確信いた
 します。

東海道線を往き交う車中の
 人々の目を奪うに充分であ
 りましよう。優美にして堅
 牢な講堂が子供達の歌育の
 広場として、大人達の教養
 の殿堂として、又発展二宮
 の象徴として、行く末長く
 町の文化向上に益する処大
 きいものがあると確信いた
 します。

運宮と経宮に倍旧の御援
 助を御依頼すると共に、私
 共これからの最善の努力を
 おさげして簡単乍ら式辭に
 かえさせていただきます。

中郡二宮町長
 西山喜八郎

祝
辭

が、また、町政の取組が相手としてはあまりに巨大な計画でした。容易ならぬ事業でもありました。しかし私達町民の熱意と努力は、遂にその金額を実現させました。 歴代町長、議会議員、教育委員会等の熱意と決断によって積立金開始されました。町民に亘つて経費されました。町民が教育を愛する特別な配慮や、町出身成功者の贈り物郷土愛、更に小中のPTA、婦人会、角道会等の協力と援助があが九となつて、素晴らしい今日の成果を齎らしてく	本日二町三町における講堂の落成祝賀にお招きを受けた。共に喜びをわかちたく一言祝詞を申し上げたいと存じます。 この座席成を見ました講堂は、二宮町民各位の熱心なる御要望に基き、町当局町議会をはじめ全町民の物的精神的の御協力の結果、建築完成を実現され更に内部整備についてPTA、その他同仕の絶大な御協力によるものと承り、全町一休の協力が、近代的教育作り上げられたのです。この御芳苦に對して天下に知られておる所で、由來當地は長寿の里として、末長くその効果を持続させるであらうことを期す次第であります。 待には新緑がそよぎ、相模川の波明るいはのぼるとした風光の中に光る講堂の容姿は、二宮町の歴史に一頁を飾る大事業であります。茲に町長さんを始め全町民の皆さんに落成までの御芳苦に對し重ねて敬意を表し、併せて本講堂の御発展を念じて祝賀といたします	と存じます。 この座席成を見ました講堂は、二宮町民各位の熱心なる御要望に基き、町当局町議会をはじめ全町民の物的精神的の御協力の結果、建築完成を実現され更に内部整備についてPTA、その他同仕の絶大な御協力によるものと承り、全町一休の協力が、近代的教育作り上げられたのです。この御芳苦に對して天下に知られておる所で、由來當地は長寿の里として、末長くその効果を持続させるであらうことを期す次第であります。 待には新緑がそよぎ、相模川の波明るいはのぼるとした風光の中に光る講堂の容姿は、二宮町の歴史に一頁を飾る大事業であります。茲に町長さんを始め全町民の皆さんに落成までの御芳苦に對し重ねて敬意を表し、併せて本講堂の御発展を念じて祝賀といたします	と存じます。 この座席成を見ました講堂は、二宮町民各位の熱心なる御要望に基き、町当局町議会をはじめ全町民の物的精神的の御協力の結果、建築完成を実現され更に内部整備についてPTA、その他同仕の絶大な御協力によるものと承り、全町一休の協力が、近代的教育作り上げられたのです。この御芳苦に對して天下に知られておる所で、由來當地は長寿の里として、末長くその効果を持続させるであらうことを期す次第であります。 待には新緑がそよぎ、相模川の波明るいはのぼるとした風光の中に光る講堂の容姿は、二宮町の歴史に一頁を飾る大事業であります。茲に町長さんを始め全町民の皆さんに落成までの御芳苦に對し重ねて敬意を表し、併せて本講堂の御発展を念じて祝賀といたします	と存じます。 この座席成を見ました講堂は、二宮町民各位の熱心なる御要望に基き、町当局町議会をはじめ全町民の物的精神的の御協力の結果、建築完成を実現され更に内部整備についてPTA、その他同仕の絶大な御協力によるものと承り、全町一休の協力が、近代的教育作り上げられたのです。この御芳苦に對して天下に知られておる所で、由來當地は長寿の里として、末長くその効果を持続させるであらうことを期す次第であります。 待には新緑がそよぎ、相模川の波明るいはのぼるとした風光の中に光る講堂の容姿は、二宮町の歴史に一頁を飾る大事業であります。茲に町長さんを始め全町民の皆さんに落成までの御芳苦に對し重ねて敬意を表し、併せて本講堂の御発展を念じて祝賀といたします
内山岩太郎	神奈川県知事			

祝辭

祝辭

若葉薫る本日、貴二宮町
 学校講堂落成祝賀の盛儀
 に参列させて頂きまして、
 中郡町村会を代表して一言
 祝辞を送るの機会を得ま
 した事は誠に光榮に存じ且
 し誠に衷心より御祝い申し
 上げます。

今更乍ら皆さんの御卓見と
 御協力に対し満腔の敬意を
 表すると共に、今迄の御苦
 心に比例して、そのお喜び
 もさぞかし大きい事とお察
 しとして、必ずや御当町の
 一層の御発展に大いに役立
 つものであることを確信致し
 まして、本当に慶賀に耐え
 ない次第であります。

以上甚だ華辭ですが謹んで
 祝辭といたします。

中郡町村会長 伊勢原町長
 竹内 新三郎

祝辭



落成式当日三つの歌公開録音風速

祝 辭

若葉もえ風薫る五月晴れの
 の本日は、こゝ長崎の里二宮
 の記念すべき講堂落成式に
 表し、不肖二宮町議会の代
 表し一言挨拶を述べてさ
 す。

望遠より、歌にえがいた
 の、講堂建設につきまして
 は、本日この日を共に
 祝福する。町民の皆様、又
 志を抱いて各地で御活躍の
 当地出身篤志者の方々、並
 びに本日御参加の各界関係
 各位の並々ならぬ熱意と御
 努力を感謝し、その御協力
 御支援に對し、深甚なる敬意
 を表するものであります。

思い起せば終戦の混沌に
 入つた、自失状態から抜け
 出た、立ち直り始めた年、
 は、始業式に、卒業式に、
 今日よりは小学校に於て
 成敗せしめた事は、誠に喜
 びます。

昭和二十六年、当時の社会
 教育委員の方々が新しい
 町二宮建設のため礎とし
 てに教育場、文化の
 センターとしての殿堂が計
 画され、あの戦後の動盪期
 に於て斯様に將來への雄大
 なる設計がなされた事は、
 誠に欣快に堪へない所であ
 ります。

昭和二十一年、町民の高
 まる望望の声に町当局並び
 に議会に於てはその機を
 失せず、一大英断を以てこ
 の建設を進に當り、町内外
 の御協力と関係各位の御努
 力と相俟つて、かくの如き
 スマートな近代的建築が完
 成致せしめた事は、誠に喜
 びます。

或は文学芸会に、児童が一
 堂に会し、喜びを分かち合
 い、又從つて多くの教室の明
 けや暗を待つて移動するこ
 となく、落着いて勉學に
 励む事が出来、一方中学校
 に於ても、或は学会等に、音
 樂会に、楽しみを分かち合
 うことが出来るのでありま
 す。

あの鉄骨、あの窓、この
 縦横の一つ一つに愛情こめ
 られた此の殿堂の中より、希
 くば子供らの、強く、正し
 く健かに育ち、立派に巣立
 ち行くことを、私達父兄の
 一員として静かに見守りた
 いと思ひます。

又一方町章輝や講堂は
 社会教育施設でもあると存
 じます。

以上申し上げた講堂落成式に
 出づるの立直り始めた年、
 は、始業式に、卒業式に、
 今日よりは小学校に於て
 成敗せしめた事は、誠に喜
 びます。

或は文学芸会に、児童が一
 堂に会し、喜びを分かち合
 い、又從つて多くの教室の明
 けや暗を待つて移動するこ
 となく、落着いて勉學に
 励む事が出来、一方中学校
 に於ても、或は学会等に、音
 樂会に、楽しみを分かち合
 うことが出来るのでありま
 す。

あの鉄骨、あの窓、この
 縦横の一つ一つに愛情こめ
 られた此の殿堂の中より、希
 くば子供らの、強く、正し
 く健かに育ち、立派に巣立
 ち行くことを、私達父兄の
 一員として静かに見守りた
 いと思ひます。

又一方町章輝や講堂は
 社会教育施設でもあると存
 じます。

以上申し上げた講堂落成式に
 出づるの立直り始めた年、
 は、始業式に、卒業式に、
 今日よりは小学校に於て
 成敗せしめた事は、誠に喜
 びます。

或は文学芸会に、児童が一
 堂に会し、喜びを分かち合
 い、又從つて多くの教室の明
 けや暗を待つて移動するこ
 となく、落着いて勉學に
 励む事が出来、一方中学校
 に於ても、或は学会等に、音
 樂会に、楽しみを分かち合
 うことが出来るのでありま
 す。

あの鉄骨、あの窓、この
 縦横の一つ一つに愛情こめ
 られた此の殿堂の中より、希
 くば子供らの、強く、正し
 く健かに育ち、立派に巣立
 ち行くことを、私達父兄の
 一員として静かに見守りた
 いと思ひます。

又一方町章輝や講堂は
 社会教育施設でもあると存
 じます。

以上申し上げた講堂落成式に
 出づるの立直り始めた年、
 は、始業式に、卒業式に、
 今日よりは小学校に於て
 成敗せしめた事は、誠に喜
 びます。

或は文学芸会に、児童が一
 堂に会し、喜びを分かち合
 い、又從つて多くの教室の明
 けや暗を待つて移動するこ
 となく、落着いて勉學に
 励む事が出来、一方中学校
 に於ても、或は学会等に、音
 樂会に、楽しみを分かち合
 うことが出来るのでありま
 す。

あの鉄骨、あの窓、この
 縦横の一つ一つに愛情こめ
 られた此の殿堂の中より、希
 くば子供らの、強く、正し
 く健かに育ち、立派に巣立
 ち行くことを、私達父兄の
 一員として静かに見守りた
 いと思ひます。

又一方町章輝や講堂は
 社会教育施設でもあると存
 じます。

以上申し上げた講堂落成式に
 出づるの立直り始めた年、
 は、始業式に、卒業式に、
 今日よりは小学校に於て
 成敗せしめた事は、誠に喜
 びます。

或は文学芸会に、児童が一
 堂に会し、喜びを分かち合
 い、又從つて多くの教室の明
 けや暗を待つて移動するこ
 となく、落着いて勉學に
 励む事が出来、一方中学校
 に於ても、或は学会等に、音
 樂会に、楽しみを分かち合
 うことが出来るのでありま
 す。

あの鉄骨、あの窓、この
 縦横の一つ一つに愛情こめ
 られた此の殿堂の中より、希
 くば子供らの、強く、正し
 く健かに育ち、立派に巣立
 ち行くことを、私達父兄の
 一員として静かに見守りた
 いと思ひます。

又一方町章輝や講堂は
 社会教育施設でもあると存
 じます。

以上申し上げた講堂落成式に
 出づるの立直り始めた年、
 は、始業式に、卒業式に、
 今日よりは小学校に於て
 成敗せしめた事は、誠に喜
 びます。

或は文学芸会に、児童が一
 堂に会し、喜びを分かち合
 い、又從つて多くの教室の明
 けや暗を待つて移動するこ
 となく、落着いて勉學に
 励む事が出来、一方中学校
 に於ても、或は学会等に、音
 樂会に、楽しみを分かち合
 うことが出来るのでありま
 す。

あの鉄骨、あの窓、この
 縦横の一つ一つに愛情こめ
 られた此の殿堂の中より、希
 くば子供らの、強く、正し
 く健かに育ち、立派に巣立
 ち行くことを、私達父兄の
 一員として静かに見守りた
 いと思ひます。

又一方町章輝や講堂は
 社会教育施設でもあると存
 じます。

以上申し上げた講堂落成式に
 出づるの立直り始めた年、
 は、始業式に、卒業式に、
 今日よりは小学校に於て
 成敗せしめた事は、誠に喜
 びます。

或は文学芸会に、児童が一
 堂に会し、喜びを分かち合
 い、又從つて多くの教室の明
 けや暗を待つて移動するこ
 となく、落着いて勉學に
 励む事が出来、一方中学校
 に於ても、或は学会等に、音
 樂会に、楽しみを分かち合
 うことが出来るのでありま
 す。

あの鉄骨、あの窓、この
 縦横の一つ一つに愛情こめ
 られた此の殿堂の中より、希
 くば子供らの、強く、正し
 く健かに育ち、立派に巣立
 ち行くことを、私達父兄の
 一員として静かに見守りた
 いと思ひます。

又一方町章輝や講堂は
 社会教育施設でもあると存
 じます。

以上申し上げた講堂落成式に
 出づるの立直り始めた年、
 は、始業式に、卒業式に、
 今日よりは小学校に於て
 成敗せしめた事は、誠に喜
 びます。

或は文学芸会に、児童が一
 堂に会し、喜びを分かち合
 い、又從つて多くの教室の明
 けや暗を待つて移動するこ
 となく、落着いて勉學に
 励む事が出来、一方中学校
 に於ても、或は学会等に、音
 樂会に、楽しみを分かち合
 うことが出来るのでありま
 す。

あの鉄骨、あの窓、この
 縦横の一つ一つに愛情こめ
 られた此の殿堂の中より、希
 くば子供らの、強く、正し
 く健かに育ち、立派に巣立
 ち行くことを、私達父兄の
 一員として静かに見守りた
 いと思ひます。

又一方町章輝や講堂は
 社会教育施設でもあると存
 じます。

以上申し上げた講堂落成式に
 出づるの立直り始めた年、
 は、始業式に、卒業式に、
 今日よりは小学校に於て
 成敗せしめた事は、誠に喜
 びます。

或は文学芸会に、児童が一
 堂に会し、喜びを分かち合
 い、又從つて多くの教室の明
 けや暗を待つて移動するこ
 となく、落着いて勉學に
 励む事が出来、一方中学校
 に於ても、或は学会等に、音
 樂会に、楽しみを分かち合
 うことが出来るのでありま
 す。

あの鉄骨、あの窓、この
 縦横の一つ一つに愛情こめ
 られた此の殿堂の中より、希
 くば子供らの、強く、正し
 く健かに育ち、立派に巣立
 ち行くことを、私達父兄の
 一員として静かに見守りた
 いと思ひます。

又一方町章輝や講堂は
 社会教育施設でもあると存
 じます。

以上申し上げた講堂落成式に
 出づるの立直り始めた年、
 は、始業式に、卒業式に、
 今日よりは小学校に於て
 成敗せしめた事は、誠に喜
 びます。

或は文学芸会に、児童が一
 堂に会し、喜びを分かち合
 い、又從つて多くの教室の明
 けや暗を待つて移動するこ
 となく、落着いて勉學に
 励む事が出来、一方中学校
 に於ても、或は学会等に、音
 樂会に、楽しみを分かち合
 うことが出来るのでありま
 す。

あの鉄骨、あの窓、この
 縦横の一つ一つに愛情こめ
 られた此の殿堂の中より、希
 くば子供らの、強く、正し
 く健かに育ち、立派に巣立
 ち行くことを、私達父兄の
 一員として静かに見守りた
 いと思ひます。

又一方町章輝や講堂は
 社会教育施設でもあると存
 じます。

以上申し上げた講堂落成式に
 出づるの立直り始めた年、
 は、始業式に、卒業式に、
 今日よりは小学校に於て
 成敗せしめた事は、誠に喜
 びます。

或は文学芸会に、児童が一
 堂に会し、喜びを分かち合
 い、又從つて多くの教室の明
 けや暗を待つて移動するこ
 となく、落着いて勉學に
 励む事が出来、一方中学校
 に於ても、或は学会

報告經過建築堂講

講堂建築經過報告

一方財産の措置につきましては、町内寄附一九〇〇、〇〇〇円の目標を上廻り二六二五、三〇〇円、町出身者より七七四、二〇〇円、その他特別寄附三八六、二七〇円計三七八六、二七四円になりました。

又小、中PTA、婦人会の積立金は〇余万円になり、内部費と色々寄附して、貢

象基準には間口が四米不足あり
（現敷地では全一見込の建物は
が精一ぱい）で金一見込の建
ありまんでした。此処に於て
全くの自己財源により施行
することに決定しました。
昭和三十一年五月次の繰
に実施計画を定めました。
一、建設費 壹千萬元
（内寄附金三百萬元）
二、鉄骨耐火建築
三、平家 一六三坪
外に便所、渡廊の下
四、完成は予算の可
なら、昭和三十一年度
不可能なら昭和三十三年
年に継続事業として
十三年五月完成

— — — — —

講堂建設資金

町出身成功者寄附芳名

今回の講堂建設にあたり町出身成功者の方々に御協力をお願いした処心よく御援助を頂きおかげ様で完成することが出来ました。茲に芳名を登載し感謝申し上げますと共に愈々御活躍御発展をお祈りいたします。

53

